

石巻市のNPO法人「石巻スポーツ振興サポートセンター」が農園プロジェクトに乗り出す。野菜栽培の共同作業を通じて、東日本大震災の仮設住宅で暮らす被災者のコミュニティづくりを促す。9月末にもビニールハウスの建設に着手する方針で、参加を呼び掛けている。

震災から3年半がたち、住まいを再建して仮設住宅から移転する住民が増えている。プロジェクトは交流の機会を提供し、新たな人のつながりを生み出すのが狙い。農園は南境地区の休耕地約630平方メートルで、センターが農家から借り受けた。約1100平方メートルのハウスを建て、野

野菜作り つながり 育む

仮設住民支援 石巻でハウス農園計画

菜を育てる。

ハウスは業者の指導を受けながら、参加者を中心に組み立てる。10月には堆肥を入れて土作りを進め、苗を植える計画。対象は近辺の仮設住宅の住民で、30世帯の予定（先

着順）。1世帯当たり2000

円の参加費は苗や肥料の購入に充てる。

センターは栽培した野菜で料理を楽しむ「収穫祭」や、段階的に農地を広げ、露地栽培を手掛けることなども検討

している。

担当する日野正美さん(61)は「コミュニティづくりはもちろん、仮設住宅の生活が長期化している住民が少しでも心を休められるような活動にできればいい」と話して

いる。

プロジェクトの説明会は17日午後2時から、市開成公民館で開かれる。連絡先はサポートセンター0225(9)04334。